小板まきばの里

2021/4/1

小板（こいた）まきばの里通信Vol 4.1

～春の鳥を探そう～

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高700mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ２名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

■キャンプ場周辺で春の植物を探索しよう！

■里山の自然観察　～春の鳥を探そう～

キャンプ場の周辺には1年を通して野の鳥、山の鳥、水辺の鳥等いろいろな鳥が姿を見せてくれますが、3月後半になると芽吹き始めた木々の間で春の鳥たちがにぎやかにさえずり始めます。肉眼で鳥の種類を特定するのは難しいですが、声や行動に特徴がある鳥は見つけやすく比較的簡単に特定できます。ギーギーとかわいくない声で鳴きながらドングリサイト周辺の木の幹に飛んできて木をつつきながらよじ登るのはコゲラ。スズメに似た体に歌舞伎役者のような顔で木のてっぺんで高らかにさえするのはホオジロ。ケッ、ケッと鳴きながら木の間を移動してから木をつついてココココと打楽器のような音を出すのはアカゲラ。チリリチリリと小さな声で鳴きながらグループで木から木へ移動していく尾が長い鳥はエナガです。近くで鳥の声が聞こえたらその姿を探してみましょう。